

財団法人かめのり財団 2008年度 講演会・シンポジウム

2008年度は、本財団理事で、日中比較研究者で宮沢賢治研究者の王敏氏(法政大学教授)による主に日本と中国の相互理解に関する講演会を次の3か所で開催しました。

講演では、中国と日本の古代からの深いつながりや両国が使用している漢字や数々の事例を挙げて説明し、両国民の国民性の違いなど具体例をあげることで違いをわかりやすく話されました。

古くからお互いに学びあい、相手から違いを知ることで様々なことを作り上げてきた中国と日本。異文化を理解するということは、国と国に限らず地域と地域、人と人との理解であり、「違い」を楽しく知り、「違い」をお互いに吸収し、受け入れることが重要であること、そして若い世代は新しい文化を素材として交流がさらに深まることを願う王敏氏のメッセージが伝えられました。

城西国際大学【演題】「日本と中国 - 相互誤解の構造」

日時：2008年9月24日 15:30～17:00

場所：城西国際大学 千葉東金キャンパス

城西国際大学の中国を研究する学生を中心として、千葉県日中交流協会や東金市国際交流協会の方々を対象にして開催され、日中比較文化を勉強中の学生のみなさんをはじめ、150名ほどの方々が聴講。講演内容は、2008年9月25日に発売となる王敏氏の新著『日本と中国 - 相互誤解の構造』にあわせたものとなりました。



北海道札幌清田高等学校【演題】「なぜ異文化理解が必要か？」

日時：2009年1月23日 13:30～14:30

場所：札幌清田高校

札幌清田高校のグローバルコースの1、2年生80名の生徒のみなさんや教員の方を対象として開催。国際理解教育に力を入れているグローバルコースは、英語圏だけに目を向けるのではなく、中国語やハンガルの履修や、シンガポール・マレーシアへの見学旅行やイラクの元兵士の方を招いた講演会など、積極的に取り組んでおられます。今回の講演も、国際理解教育の一環として授業の一部に取り入れていただき実現しました。



南相馬市国際交流協会(福島県)【演題】「日本と中国 相互理解のすすめ」

日時：2009年1月31日 13:30～15:00

場所：南相馬市原町区福祉会館(視聴覚室)

南相馬市国際交流協会の会員および市民の方、約70名を対象として開催。

南相馬市国際交流協会の方にとってもはじめての大きな講演会となりましたが、日本と中国に関心のある方々が多く集まり、熱心に講演に耳を傾けてくださいました。



これらの講演会開催にあたり、城西国際大学中国文化研究センター所長 孫根志華先生、札幌清田高校 校長の武田克伸先生、グローバルコースの林恵子先生、南相馬市国際交流協会 会長の志賀吉延さん、事務局長の若松蓉子さんをはじめとする多くの方のご理解とご協力をいただきました。

